

INTERVIEW インタビュー

KIJUYA GROUP
BY
MITSUBAKOBO

みつば工房 当事者メンバー Mさん

2023年3月からみつば工房を利用しています。しめ縄では、お一人で水引飾り作成を担ってくださったこともあります。普段は在宅業務をされていますが、今回は週に1度の通所利用時にお話を伺いました。



障がいと向き合い一歩
を踏み出したきっかけ
と思います

☆スタッフ 抱えている障がいと、その障がいとどのように向き合っていますか？

★Mさん 双極性障害と、あとはパニック発作もあります。気分の波があるし症状も突然でるので、その都度お薬を飲んで対応をしています。状態が良いときに活動をしなから、生活を送っています。

☆スタッフ その中でみつば工房をどのような目的で利用されていますか？きっかけなど

★Mさん 訪問看護さんから、みつばさんのパンフレットをいただいたことがきっかけですね。元々つまみ細工を作ったり、ハンドメイド作品をフリマサイトで販売していたこともあって、訪問看護さんが、「Mさんに合うんじゃないか」って勧めてくださったんです。それで初めて見学に行かせてもらったとき、安心感があつたというか。女性しか居ないし、静かできれいだし。落ち着いた雰囲気もあつたから、良いなと思って利用をはじめました。

利用している目的は、関わる人を増やしたり自分の居場所を増やすことで、得られる安心感があるからですね。



インタビュー事業所

福岡市東区にある女性限定でドライフラワー専門店併設の就労継続支援B型事業所です！お花と人を通して働くことの喜びや生きがいを探めることを目的としています。

就労継続支援B型 みつば工房

お花の仕事がくれた
変化と成長と未来とは

☆スタッフ 利用することで成長できたこと、改善されたことはなんでしょう？

★Mさん 成長したことについては、お仕事があることによって、「日中はお仕事があるから頑張らなくちゃ」って生活リズムを整えようと努力できるようになったことです。

利用する中で、話す相手が増えたり、通所先の人たちの信頼関係を築くことが出来たので、自分の病気も以前より安定してきています。改善したことはそれですね。

☆スタッフ 花と人と触れ合うことで、嬉しかったこと等変化はありますか？

★Mさん 花は、視覚と嗅覚に訴えかけてきますよね。意識していなくても、自然と、リラックス効果があると思います。自分自身の気持ちや和らぐ感覚ですね。

自宅を持ち帰って作業をするときにも、お花が入った箱を開けて香りを感じて、わーって。癒されています。科学的な匂いじゃないから、ほのかに香る感じが良いですね。あ、でも、在宅作業でサシェづくりをした時は、アロマオイルの香りは嫌だなと感じなかつたです。すごく楽しんで製作できました。

☆スタッフ 今後自分が望む未来について教えてください。

★Mさん 一日一日が、出来るだけ安定して、その中で自分がステップアップできることがあれば進んでいけたら良いなと思っています。

☆スタッフ お客様に伝えたいこと

★Mさん お客様がMITSUBAKOBOの商品を購入してくださることで、私たちは作品をつくることで、そのことが大変励みになっています。商品を購入してくださることで、それが私たちのお仕事になるし、お給料になるし、やりがいにもなるし。本当にありがとうございます。